

JAバンク静岡から県下小学校への教材本贈呈について

JAバンクグループでは全国的な取組みとして、平成20年度から、子どもたちの農業への理解をはぐくみ、農業ファンの拡大や地域発展に貢献することを目的とした食農教育応援事業に取り組んでおります。この事業の一環として、昨年、一昨年と食農教育や環境教育、金融経済教育をテーマに小学校高学年向けの補助教材を作成し、全国の小学校に贈呈させていただきました。多くの学校でご活用いただくとともに、教育関係者の皆さまから高い評価をいただいたところです。

今回、より一層、農業への理解を広げる取組みとしていくため、教育関係者の皆さまからお寄せいただいたご意見を参考に、一部内容の見直しを行った上で、JAバンク補助教材「農業とわたしたちの暮らし」を、資料編として位置付ける「ジュニア農林水産白書」（農林水産省編集）とともに、2冊セットで全国の小学校に贈呈させていただきます。

JAバンク静岡では、県下526校の小学5年生（約3万5千人）に対し、3月中旬以降、順次、最寄りのJA店舗より教材本をお届けする予定ですが、これに先駆けて平成22年3月15日（月）に静岡県教育委員会に対して、目録を贈呈させていただきました。



左

静岡県信用農業協同組合連合会
代表理事 鈴木 文隆

中央

静岡県教育委員会
教育長 遠藤 亮平 様

右

静岡県信用農業協同組合連合会
常務理事 松浦 忠

※「JAバンク食農応援事業」と教材本の概要については、別紙をご覧ください。

「JAバンク食農応援事業」と教材本の概要について

1. 「JAバンク食農教育応援事業」について

JAバンク食農教育応援事業では、子どもたちが食料を生産する「農」の役割や重要性、自然・社会環境と「農」とのつながり等について学び、農業に対する理解を深めていただけるよう、食農教育を中心とする教育活動を行っております。具体的には、次の2つの事業について、全国の小学校、教育委員会、地域の皆さまと連携して取り組んでおります。

- (1) 全国小学校で活用いただける食農、環境保全等にかかる補助教材を全国のJAから贈呈する事業
- (2) JAによる農業体験学習活動、地元食材を使った学校給食の促進活動、コンクールの実施等の教育活動の実践

2. 教材本の概要

(1) 配布対象の教材本

- ① 農業とわたしたちの暮らし（本編）
- ② ジュニア農林水産白書（資料編）

(2) 教材本の内容

小学校の授業において、補助教材として活用されることを目的とする食農教育・環境教育・金融経済教育を基本テーマとした冊子です。

私たちの生活を維持するために必要な「食」とこれを生み出す農業、環境と農業のかかわり、さらに安定した食の供給のための流通や農産物価格の決め方等について総合的に学習することで、農業に対する理解を多面的に広げていくことができます。

平成22年度版の補助教材は、教育現場からのご意見等を踏まえ、全体ボリュームを3分の2程度に圧縮したうえで、従来の3分冊から1冊に集約いたしました。

ジュニア農林水産白書については、JAバンクの補助教材「農業とわたしたちの暮らし」の資料集として、ご活用いただけます。

(3) 教材本の特長・活用方法

本教材は社会科を中心として、総合的な学習の時間、理科、家庭科等の内容についても取り入れており、單元ごとに独立したテーマを設定していますので、個々の単元を採り上げてご活用いただくことも可能です。

また、子どもたちが関心をもって自ら考え、書き込めるようにワークシートの形式を採っておりますので、授業の中で教科書と組み合わせてご活用いただけます。あわせて、授業における具体的な指導方法等を記した教師用の指導書も配布させていただきます。

(4) 県内配布対象

526校の小学5年生（約3万5千人）と担任教師

本件に関するお問い合わせ先

静岡県信用農業協同組合連合会

JA企画推進部 JA業務企画グループ

電話：050-3101-3948